

第2次環境基本計画改訂版 平成30年度重点プロジェクトの実績一覧(H31.3.31現在)

重点プロジェクト	取組内容	平成29年度の実績 (参考)	平成30年度の実績	自己評価	担当室課の見解など	担当室課	関係室課
地球温暖化対策の推進(1)	① 低炭素まちづくりの検討及び推進  <ul style="list-style-type: none"> <li>下水熱など未利用エネルギーの活用</li> <li>自動車利用抑制による公共交通機関の利用促進等</li> <li>公園等における緑地の保全及び緑化の推進</li> </ul>	大阪大学大学院工学研究科附属オープンイノベーション教育研究センター(COIRE)と連携し、持続可能な社会を構築するための「フューチャー・デザイン」をテーマとするワークショップを2回開催した。(9月30日、12月16日)	大阪大学大学院工学研究科附属オープンイノベーション教育研究センター(COIRE)と連携し、持続可能な社会を構築するための「フューチャー・デザイン」をテーマとする公開シンポジウムを共催した。(11月7日) また、現在策定作業中の第3次環境基本計画にかかわるテーマ(エネルギー分野等)を題材としたワークショップを開催した(3月30日)	○	COIREの研究テーマである「フューチャー・デザイン」に協力することは、本市の「環境まちづくり」に資するものと考えている。「フューチャー・デザイン」の社会実装に向けた取組を開始した点において、前進がみられた。	環境政策室	
		平成29年度は、公園1、遊園2、公園の拡大1を開設しました。	平成30年度は、近隣公園1、遊園3を開設しました。	△	健都レールサイド公園の整備及び開発事業による公園等の開設がありました。今後も公園整備に努めます。	公園みどり室	
		吹田市公共交通マップ2018の作成：21,450部 うち約半数を毎年転入窓口で配布。その他は、市内の主な駅、公共施設等で配布。	吹田市公共交通マップ2019の作成：21,000部 うち約半数を毎年転入窓口で配布。その他は、市内の主な駅、公共施設等で配布。	△	公共交通マップを配布することにより、公共交通利用促進に寄与している。	総務交通室	
	② 公共施設における率先実行(節エネルギー、省エネルギー、低炭素エネルギー)  <ul style="list-style-type: none"> <li>節エネルギーの率先実行</li> <li>省エネルギー機器・再生可能エネルギーの導入拡大</li> </ul>	再生可能エネルギー 【新佐竹台住宅】 太陽光発電 5.5kW(集会場) 太陽光発電 92W(街灯) 【吹田市立江坂大池小学校】 太陽光発電 10kW 【吹田市立豊津中学校】 太陽光発電 10kW 【はぎのきこども園】 太陽光発電 5.4kW  また、吹田市庁舎ほか78施設において、再生可能エネルギーの導入拡大を創出することを目的に、再生可能エネルギー比率の高い電気を供給する等、環境に配慮した小売電気事業者からの電力調達を実施した。	再生可能エネルギー 【吹田市吹田南地区公民館】 太陽光発電 2.88kW 【吹田市山手地区公民館及び山手地区高齢者いこいの間】 太陽光発電 4.4kW 【新しいすみ公園】 太陽光発電 90kW 【いずみの園公園】 太陽光発電 130kW 【岸部駅北公共通路】 太陽光発電 5.61kW  前年度に実施した高圧電力(負荷率40%以下)に加え、高圧電力(負荷率40%以上)及び低圧電力(従量電灯A、従量電灯B及び低圧電力)も対象とし、再生可能エネルギーの導入拡大を創出することを目的に、再生可能エネルギー比率の高い電気を供給する等、環境に配慮した小売電気事業者からの電力調達は市有施設296施設で実施した。	○	昨年度と同様、幼稚園・学校等の教育機関を中心に太陽光発電システムの導入を進めてきた  吹田市電力の調達に係る環境配慮方針を基に、環境に配慮した小売電気事業者からの電力調達を実施した。	環境政策室	環境政策室 総務室 資産経営室 地域経済振興室 都市計画室 開発審査室 総務交通室 道路室 公園みどり室 下水道経営室
		認定こども園の新築工事(1件)、学校の大規模改修工事(11件)、トイレリニューアル工事(11件)及び屋内運動場改修工事(5件)と、他改修・修繕で新設・更新する照明器具・誘導灯についてLED照明を導入した。また、上記トイレリニューアル工事において人感センサーを導入した。	学校の大規模改修工事(12件)、トイレリニューアル工事(10件)及び屋内運動場改修工事(5件)と、他改修・修繕で新設・更新する照明器具・誘導灯についてLED照明を導入した。また、上記トイレリニューアル工事において人感センサーを導入した。	△	今後も引き続き省エネルギー機器等の導入を進める。	資産経営室	

第2次環境基本計画改訂版 平成30年度重点プロジェクトの実績一覧(H31.3.31現在)

重点プロジェクト	取組内容	平成29年度の実績 (参考)	平成30年度の実績	自己評価	担当室課の見解など	担当室課	関係室課
地球温暖化対策の推進(2)	③ 廃棄物処理関連施設包括的管理運営事業 本市資源循環エネルギーセンター、破砕選別工場、資源リサイクルセンター及びストックヤードの管理運営に、民間の活力及び経営手法を導入することにより、より効率的で効果的な廃棄物処理事業及び環境啓発に関する事業を行うことの様々な可能性について、調査・比較・検討を行う。	資源リサイクルセンターの事業として、昨年度に引き続き、吹田環境セミナーを開催するとともに、地球温暖化防止をテーマとした啓発イベントをアジェンダ21すいたとも連携してエキスポシティ内において実施した。また、市内大学生と連携して、市内の子育てサロン6か所で地球温暖化防止に関する啓発活動を実施した。	資源リサイクルセンターの事業として、昨年度に引き続き、地球温暖化防止動画コンテストを開催するとともに、地球温暖化防止をテーマとした啓発イベントをアジェンダ21すいたと連携しエキスポシティ内において実施した。	△	資源リサイクルセンターの事業として、地球温暖化防止に向けた環境啓発事業を、学生等とも連携し、実施することができた。今後は、環境問題にあまり関心がない層などに対しての働きかけも積極的に行う必要がある。	環境政策室	環境政策室 総務室 資産経営室 地域経済振興室 都市計画室 開発審査室 総務交通室 道路室 公園みどり室 下水道経営室
	④ 再生可能エネルギーの導入促進	昨年度に引き続き、おおさかスマートエネルギー協議会(市町村部会)等に参加し情報収集を行った。また、大阪府及び大阪市が共同で取り組むおおさかスマートエネルギーセンターについて、HPで紹介し、市民・事業者に情報提供を行っている。また、アジェンダ21すいたとの連携・協働により、下水汚泥の活用による再生可能エネルギーの導入について下水処理場見学会及び環境フォーラムを開催した。	昨年度に引き続き、おおさかスマートエネルギー協議会(市町村部会)等に参加し情報収集を行った。本年度は、本市で取り組んでいる電力調達について、各市町村へ情報提供を行った。また、大阪府及び大阪市が共同で取り組むおおさかスマートエネルギーセンターについて、HPで紹介し、市民・事業者に情報提供を行っている。また、アジェンダ21すいたとの連携・協働による十五夜ムーンライトコンサートにおいて、昼間に太陽光パネルで充電した電気自動車展览展示し、その電力を使ってコンサートにかかる電力をまかなうことで、太陽光発電の導入、普及に関する啓発を行った。	△	本市のHPやアジェンダ21すいたとの連携・協働によるイベントなどにおいて、再生可能エネルギーの導入促進の啓発を行っているが、更なる導入促進に向けた支援策や啓発を行う必要がある。	環境政策室	

第2次環境基本計画改訂版 平成30年度重点プロジェクトの実績一覧(H31.3.31現在)

重点プロジェクト	取組内容	平成29年度の実績 (参考)	平成30年度の実績	自己評価	担当室課の見解など	担当室課	関係室課
ヒートアイランド対策の推進(1)	① 建築物・道路・駐車場の高温抑制化(高反射性塗装、透水性・保水性・遮熱性舗装など)	(仮称)北千里・古江台認定ことも園建設工事のほか、7施設で屋上防水改修を実施し、仕上げ塗料に高反射塗料を採用した。	小・中学校校舎大規模改造工事など、26施設で防水工事を実施し、仕上げ塗料に高反射塗料を採用した。	△	今後も防水工事を実施する際には、高反射塗料を採用し、ヒートアイランド対策に努める。	資産経営室	
		平成29年度透水性舗装施工面積: 2,397.0㎡	平成30年度透水性舗装施工面積: 1,895.1㎡	△	歩道舗装更新の際に、ヒートアイランド対策としても効果が期待できる透水性舗装の整備に努めており、今後も引き続き行う予定である。	道路室	
		歩道等の舗装工事の際に、ヒートアイランド対策として効果が期待できる透水性舗装を採用した。 平成29年度実績 千里南地区センター再整備事業 約520㎡ 都市計画道路千里山佐井寺線道路新設事業 約1570㎡	歩道等舗装工事の際に、ヒートアイランド対策として効果が期待できる透水性舗装を実施した。 平成30年度実績 千里南地区センター再整備事業 510㎡ 千里山駅周辺整備事業 210㎡ 南吹田駅前線立体交差事業 3212㎡ 南吹田駅前線関連道路整備事業 863㎡ 岸部中千里丘線道路新設事業 3522㎡	△	歩道等舗装工事の際に、ヒートアイランド対策として効果が期待できる透水性舗装の整備を実施した。今後も引き続き行う予定である。	地域整備推進室	
		吹田市役所エコオフィスプラン及び吹田市環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】に基づき、公共施設の建築、大規模改修の際には、高反射性塗装を実施する等のヒートアイランド対策の推進を働きかけている。 また、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】により、市内で開発や建築などを行う事業者に対し、計画の早い段階から高反射性塗装を実施する等のヒートアイランド対策への取組の検討及び実施を求めた。	吹田市役所エコオフィスプラン及び吹田市環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】に基づき、公共施設の建築、大規模改修の際には、高反射性塗装を実施する等のヒートアイランド対策の推進を働きかけている。 また、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】により、市内で開発や建築などを行う事業者に対し、計画の早い段階から高反射性塗装を実施する等のヒートアイランド対策への取組の検討及び実施を求めた。 さらに、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】(平成30年度版)では、ヒートアイランド対策に関する取組項目を「建物屋根面・壁面」と「地表面」の2つに増やし、より具体的な対策を示すようにした。	○	昨年と同様の内容に加え、平成30年度に運用を強化した。	環境政策室	環境政策室 資産経営室 地域経済振興室 都市計画室 開発審査室 総務交通室 道路室 公園みどり室 地域整備推進室 水循環室
② 公園緑地・街路樹の整備、緑化の推進(屋上・壁面緑化、みどりのカーテンなど)	平成29年度完了実績 屋上緑化 (1件 36.79㎡) 壁面緑化 (2件 41.31㎡)	平成30年度完了実績 屋上緑化 (1件 14.85㎡) 壁面緑化 (0件)	△	開発事業に係る緑化計画書の協議の結果、緑化を推進できた。今後も緑化推進に努めます。	公園みどり室		
	アジェンダ21すいたにおいて、平成29年5月27日(土)に、「みどりのカーテン講座」を開催し、苗の植え方、育成方法を専門家から解説してもらったとともに、ゴーヤの苗を参加者に配付した。当日は25名を対象に実施した。	アジェンダ21すいたにおいて、平成30年5月26日(土)に、「みどりのカーテン講座」を開催し、苗の植え方、育成方法を専門家から解説してもらったとともに、ゴーヤの苗を参加者に配付した。当日は30名を対象に実施した。	△	本年度も、令和元年5月25日(土)に「みどりのカーテン講座」を開催し、ヒートアイランド対策について理解を深めていただくとともに、市内の各家庭で緑化の取組を実践してもらう。	環境政策室		
	吹田市役所エコオフィスプラン及び吹田市環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】に基づき、公共施設の建築、大規模改修の際には、屋上・壁面緑化を実施する等のヒートアイランド対策の推進を働きかけている。 また、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】により、市内で開発や建築などを行う事業者に対し、計画の早い段階から屋上・壁面緑化を実施する等によるヒートアイランド対策への取組の検討及び実施を求めた。	吹田市役所エコオフィスプラン及び吹田市環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】に基づき、公共施設の建築、大規模改修の際には、屋上・壁面緑化を実施する等のヒートアイランド対策の推進を働きかけている。 また、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】により、市内で開発や建築などを行う事業者に対し、計画の早い段階から屋上・壁面緑化を実施する等によるヒートアイランド対策への取組の検討及び実施を求めた。 さらに、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】(平成30年度版)では、ヒートアイランド対策に関する取組項目を「建物屋根面・壁面」と「地表面」の2つに増やし、より具体的な対策を示すようにした。	○	昨年と同様の内容に加え、平成30年度に運用を強化した。	環境政策室		

第2次環境基本計画改訂版 平成30年度重点プロジェクトの実績一覧(H31.3.31現在)

重点プロジェクト	取組内容	平成29年度の実績 (参考)	平成30年度の実績	自己評価	担当室課の見解など	担当室課	関係室課
ヒートアイランド対策の推進(2)	③ 水辺空間の保全、親水空間の創出	河川管理者と協働し河川の清掃を行った。 (糸田川の清掃を年2回実施)	河川管理者と協働し河川の清掃を行った。 (糸田川の清掃を年2回実施)	△	今後も引き続き糸田川清掃業務を実施する予定である。	水循環室	
	④ 建築物の省エネルギー化、空調排熱の潜熱化	吹田市役所エコオフィスプラン及び吹田市環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】に基づき、公共施設の新築、大規模改修の際には、建築物の省エネルギー化等のヒートアイランド対策の推進を働きかけている。 また、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】により、市内で開発や建築などを行うとする事業者に対し、計画の早い段階から建築物の省エネルギー化等によるヒートアイランド対策への取組の検討及び実施を求めた。	吹田市役所エコオフィスプラン及び吹田市環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】に基づき、公共施設の新築、大規模改修の際には、建築物の省エネルギー化等のヒートアイランド対策の推進を働きかけている。 また、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】により、市内で開発や建築などを行うとする事業者に対し、計画の早い段階から建築物の省エネルギー化等によるヒートアイランド対策への取組の検討及び実施を求めた。	△	昨年と同様の内容であったため。	環境政策室	環境政策室 資産経営室 地域経済振興室 都市計画室 開発審査室 総務交通室 道路室 公園みどり室 水循環室
	⑤ ドライ型ミストの設置						
	⑥ ヒートアイランド現象のモニタリング	ヒートアイランド現象の把握のため、市域における7月～9月の熱帯夜数の把握を行った。	ヒートアイランド現象の把握のため、市域における7月～9月の熱帯夜数の把握を行った。	△	今後もヒートアイランド現象調査として、熱帯夜数の把握を行う。 また、機会を捉えて市域の気温分布調査の実施を検討する。	環境政策室	

第2次環境基本計画改訂版 平成30年度重点プロジェクトの実績一覧(H31.3.31現在)

重点プロジェクト	取組内容	平成29年度の実績 (参考)	平成30年度の実績	自己評価	担当室課の見解など	担当室課	関係室課
(環境連携パートナー)のシッ推進 ① 活動や交流・連携の場を備えたプラットフォーム組織の形成・拡充の支援 ・さまざまな主体が集い、活動や交流を進める場の整備の推進 ・市民団体や企業などを中間支援するパートナーシップ組織の形成	市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたを推進した。 ・会員数72名 ・環境教育フェスタで市内環境団体の交流会を開催11団体から合計23名参加 ・みどりのカーテン講座1回 ・「すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会」を通じて、市内スーパーでのマイバッグキャンペーン参加 ・すいた環境教育フェスタに参加 ・ニュースレター及びエコブレスの発行各4回 ・生物多様性に係る自然観察会及び大木調査2回の開催 ・吹田市立博物館夏季展示におけるまちなか水族館ボランティアによる淡水魚の展示 ・エコキャンドル作りを実施3回対象者合計109名 ・地球温暖化防止のための「すいた、私のエコ宣言」の推進で市民や事業者によるエコ宣言約600人分の収集を達成。 ・CO2排出ゼロによる「十五夜ムーンライトコンサート」を開催、約200名の来場者があった。 ・食品ロス削減の取組として、JR吹田駅前商店街の店舗を対象に食品ロスに関するアンケート調査を実施した。37店舗からアンケートに対する回答があり、うち9店舗にヒアリングを行った。	市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたを推進した。 ・会員数73名 ・環境教育フェスタで市内環境団体の交流会を開催10団体から合計19名参加 ・みどりのカーテン講座1回 ・すいた環境教育フェスタに参加 ・ニュースレター及びエコブレスの発行各4回 ・生物多様性に係るイベント1回の開催 ・吹田市立博物館夏季展示におけるまちなか水族館ボランティアによる淡水魚の展示 ・エコキャンドル作りを実施5回対象者合計97名 ・すいたクールアースウィークを実施し、市内公共施設や企業等が期間中の取組に参加した。 ・CO2排出ほゼロによる「十五夜ムーンライトコンサート」を開催、約250名の来場者があった。 ・食品ロス削減の取組として、JR吹田駅前商店街及び江坂駅周辺の店舗等を回り、食品ロス削減に関する啓発グッズの掲示等の協力要請を行った。「すいた食べきり運動推進協力店」は、現在54店舗であり、アジェンダ21すいたのホームページに一覧を掲載している。	○	今後も、引き続き事業を継続するとともに、地球温暖化防止のための活動を中心にして啓発活動及び事業者や市内環境団体との連携を進めていく。	環境政策室	環境政策室 市民自治推進室 地域経済振興室 指導室 まなびの支援課	
	吹田市立市民公益活動センターにおいて、市民公益活動のフェスタとして、南千里かえっこバザールを開催した。使わなくなったおもちゃを捨てずに再利用することによる環境負荷の低減と同時に世代間交流を通じた地域の活性化、子供たちの社会貢献活動への参加促進、千里ニュータウンプラザ内の他施設との連携促進を図った。	吹田市立市民公益活動センターにおいて、市民公益活動のフェスタとして、南千里かえっこバザールを開催した。使わなくなったおもちゃを捨てずに再利用することによる環境負荷の低減と同時に世代間交流を通じた地域の活性化、子供たちの社会貢献活動への参加促進、千里ニュータウンプラザ内の他施設との連携促進を図った。	△	さまざまな分野の市民団体の交流、世代間交流を図ることができた。また、千里ニュータウンプラザ内の多くの施設との連携も図った。	市民自治推進室		
	千里リサイクルプラザと共催で、環境学習の展示発表会を2月1日から2月7日、環境学習発表会を2月3日に開催することにより、学校における取組の周知を図った。	(公財)千里リサイクルプラザと共催で、環境学習発表会を2月2日に、環境学習展示発表会を2月2日及び2月5日から2月8日に開催することにより、市内の小中学校等における環境学習の取組の周知を図った。	△	今年度も(公財)千里リサイクルプラザと共催で、環境学習発表会を環境教育フェスタと同時に同会場で開催することで、学校教育における環境学習の成果を広く市民に周知できるよう努める。	環境政策室		
	② 積極的な情報提供、相互情報の共有・活用	環境省の公募事業である「地域循環共生圏構築検討業務」(実施主体:認定特定非営利活動法人「大阪自然史センター」、活動地域:本市及び能勢町)に平成28年度から参画している。森里川海の適正な管理と活用による「地域循環共生圏」の構築に向けて、農林業支援を通じた生物多様性の保全や人材育成等に関する取り組みを平成28年度に引き続き行った。	環境省の公募事業である「地域循環共生圏構築検討業務」(実施主体:認定特定非営利活動法人「大阪自然史センター」、活動地域:本市及び能勢町)に平成28年度から参画している。「地域循環共生圏」の構築に向けて、農林業支援を通じた生物多様性の保全や人材育成等に関する取組を平成29年度に引き続き行った。 今後の本市と能勢町の連携の方向性の確認のため、「吹田市と能勢町との地域循環共生圏構築に係る確認書」を交わした。 更に、能勢町産材等の利用推進の土台となるものである「吹田市木材利用基本方針」を策定した。	○	平成30年度までの事業期間に、街と里のつながりを通じて、地域循環共生圏の構築に向けた様々な取組を実施した。 両市町間での今後の連携の方向性を確認するとともに、木材利用という経済性を伴った連携に向けての土台作りができたという点において、取組の前進が見られたと言える。	環境政策室	



第2次環境基本計画改訂版 平成30年度重点プロジェクトの実績一覧(H31.3.31現在)

重点プロジェクト	取組内容	平成29年度の実績 (参考)	平成30年度の実績	自己評価	担当室課の見解など	担当室課	関係室課
（エコスクール）の推進	① 環境教育等促進法に基づく環境教育の充実 ・教材の開発や情報の提供 ・教職員の資質向上に向けた研修等の実施 など	・環境教育担当者会を2回実施。第1回担当者会で企業等の出前授業やサービスについて紹介した。第2回担当者会で、国・府からの伝達、各校の取組交流を実施した。	・環境教育担当者会を2回実施。企業等の出前授業やサービスについての紹介や、国・府からの伝達、各校の取組交流を実施した。成果や課題について交流し、教職員の資質向上も図った。	△	・年2回の担当者会をより充実なものにしていくための、情報収集と周知に努める。	指導室	環境政策室 指導室 資産経営室
	② 太陽光発電、太陽熱利用など再生可能エネルギーの導入	【吹田市立江坂大池小学校】 太陽光発電 10kW を導入 【吹田市立豊津中学校】 太陽光発電 10kW を導入 【吹田市立はぎのきこども園】 太陽光発電 5.4kW を導入	なし	△	小中学校に対し概ね年間2校のペースで太陽光発電を導入している。平成30年度については太陽光発電の導入実績がなかったが、令和元年度に平成30年度に導入できなかった分を含め、太陽光発電を4校導入予定であり、引き続き小中学校に太陽光発電の導入を進めていく。	資産経営室	
	③ みどりのカーテン、ピオトープ、ミニ水田などの実施	・みどりのカーテン11校で実施。 ・ピオトープを19校で実施。 ・学童農園を20校、校内ミニ水田を11校、バケツ稲を3校で実施。	・みどりのカーテン11校で実施。 ・ピオトープを17校で実施。 ・学童農園を20校、校内ミニ水田を13校、バケツ稲を5校で実施。	△	・今後もNPO法人や農家の方々等と連携し、取組実施校の増加に努める。	指導室	
	④ 校内物品のリサイクル、生ごみ等の減量化・堆肥化	・エコスクール活動簿を活用し、節電・節水・両面印刷・ごみの分別等を意識づけ、環境教育担当者にて各校におけるエコスクール活動の実情を交流し、成果、課題、進捗状況報告を行い、取組の推進を促した。	・エコスクール活動簿（環境の取組チェックシート）を活用し、全小・中学校54校において、児童・生徒、教員のエコに対する意識の向上を図った。各校の実情を環境教育担当者会で交流し、取組の推進を促した。	△	・年々エコの意識化が進んでいる。エコスクール活動簿の取組を推進し、今後も引き続き啓発していく。	指導室	
	⑤ 環境学習副読本等の活用	・引き続き環境教育副読本を全小・中学校54校に配置している。	・引き続き環境教育副読本を全小・中学校54校に配置している。	△	・引き続き環境教育副読本を全小・中学校54校に配置している。	指導室	
	⑥ 環境教育の場の充実	・NPO法人やリサイクルプラザと連携した体験的な活動や、学校での取組を発表する場を設定した。また、出前授業を提案することで、充実した環境教育を提供できた。	・NPO法人や（公財）千里リサイクルプラザと連携した体験的な活動や、学校での取組を発表する場を設定した。出前授業の紹介を4月に行うことで、見通しのある環境教育を提供できた。	△	・環境教育に取り組む専門性の高い機関及び地域等の人材について情報収集に努める。	指導室	

第2次環境基本計画改訂版 平成30年度重点プロジェクトの実績一覧(H31.3.31現在)

重点プロジェクト	取組内容	平成29年度の実績 (参考)	平成30年度の実績	自己評価	担当室課の見解など	担当室課	関係室課
地域における環境教育の推進(1)	① 環境教育等促進法に基づく協働取組などの推進 ・市民団体や事業者、行政の協働取組の推進 ・環境保全活動を行う団体等への支援 など						
	② 効果的なイベント(講習会・発表会、展示など)の開催	<p>市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたを推進した。</p> <p>・外来種問題について考えようのフィールドワーク1回 ・みどりのカーテン講座1回 ・「すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会」を通じて、市内スーパー(18店舗)でのマイバッグキャンペーン参加 ・すいた環境教育フェスタにおいてエコ双六のゲームやマイボトルの啓発、食品ロスに関する展示 ・生物多様性に係る自然観察会及び大木調査2回の開催 ・エコキャンドル講座を実施3回 ・市吹田サッカースタジアムで試合中のハーフタイムにおいて啓発活動を実施 ・地球温暖化防止のための「すいた、わたしのエコ宣言」の推進で市民、事業者によるエコ宣言およそ1,000人分から作成したエコ宣言の動画をエキスポシティ光の広場で上映</p> <p>環境問題について理解と認識を深め、環境保全に関する実践的な能力・態度を育てることを目的に平成30年2月3日(土)「すいた環境教育フェスタ」を開催した。参加者は731名。各団体の環境に対する取組展示やワークショップの実施等。</p>	<p>市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたを推進した。</p> <p>・外来種問題について考えようのフィールドワーク1回 ・みどりのカーテン講座1回 ・すいた環境教育フェスタにおいて、マイボトルの啓発、食品ロスに関する展示 ・生物多様性に係るイベント1回 ・エコキャンドル講座を5回実施 ・地球温暖化防止のため「すいたクールアースウィーク」を実施し、市内公共施設や企業等が期間中の取組に参加した。 ・「すいた、わたしのエコ宣言」の推進で市民、事業者によるエコ宣言およそ1,000人分から作成したエコ宣言の動画をエキスポシティ光の広場で上映</p> <p>環境問題について理解と認識を深め、環境保全に関する実践的な能力・態度を育てることを目的に平成31年2月2日(土)「すいた環境教育フェスタ」を開催した。参加者は856名。各団体の環境に対する取組展示やワークショップの実施等。</p> <p>「すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会」がレジ袋無料配布中止協定の締結により発展的に解消し、市民・事業者・行政が三者協働で「吹田市ごみ減量再資源化推進会議」を設立した。 ・マイバッグ・食品ロス削減キャンペーンを実施</p>	○	今年度も、市内の各主体と連携・協働を図りながら、市民に広く周知していくことのできる効果的なイベントを積極的に開催していく。	環境政策室	環境政策室 市民自治推進室 地域経済振興室 指導室
	③ 講演や講座などの学習機会の充実	<p>廃油石鹸作り、ごみの分別方法、緑のカーテン講座、古着のリフォーム講座をはじめとした地区公民館講座の開催 (主催は各地区公民館)(計36回開催)</p> <p>市報すいたやホームページなどで広報を行い、市内の団体から7件講師の派遣依頼があったため、環境教育にかかる出前講座を実施した。</p> <p>市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたにおいて実施した。 ・生物多様性に関する講演会の開催1回 ・みどりのカーテン講座1回 ・エコキャンドル講座3回開催 ・生物多様性に係る自然観察会と大木調査2回の開催 ・再生可能エネルギーに関するフォーラム及び見学会2回</p> <p>地域でのごみ減量・再資源化を図るため、市民を対象とした出前講座エコクッキング、ごみ減量サミットすいた2017等の講習会や、環境施設見学会を実施した。また、廃棄物減量等推進員を対象とした、環境施設見学会、全体会及び研修会を実施した。</p>	<p>廃油石鹸作り、ごみの分別方法、緑のカーテン講座、古着のリフォーム講座をはじめとした地区公民館講座の開催 (主催は各地区公民館)(計37回開催)</p> <p>市報すいたやホームページなどで広報を行い、市内の団体から1件講師の派遣依頼があったため、環境教育にかかる出前講座を実施した。</p> <p>市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたにおいて実施した。 ・生物多様性に関するイベントの開催1回(すいた環境学生ネットワークと共催) ・みどりのカーテン講座1回 ・エコキャンドル講座5回開催</p> <p>地域でのごみ減量・再資源化を図るため、市民を対象としたごみ減量再資源化講座、食品ロス削減講座や、環境施設見学会を実施した。また、廃棄物減量等推進員を対象とした、環境施設見学会や全体会を実施した。</p>	△	近年注力している現代的課題の一つとして、今後さらに推進していけるよう、各地区公民館と連携していく必要がある。	まなびの支援課	まなびの支援課
					△	市報すいたやホームページなどで広報をさらに進める必要がある。	まなびの支援課
				△	今年度も、市内の各主体と連携・協働を図りながら、市民に広く学習機会を提供していく。	環境政策室	環境政策室
				△	ごみ減量・再資源化を図るため、今後も研究会等を実施し、市民が主体となり取組を推進できるよう努める。また、食品ロス削減や紙ごみ削減に対して、関心のない人が取組めるようなイベントも考えていきたい。	環境政策室	環境政策室

第2次環境基本計画改訂版 平成30年度重点プロジェクトの実績一覧(H31.3.31現在)

重点プロジェクト	取組内容	平成29年度の実績 (参考)	平成30年度の実績	自己評価	担当室課の見解など	担当室課	関係室課
地域における環境教育の推進(2)	④ 地域において環境保全活動を担う人材の育成	それぞれの家庭や地域において、環境活動を実践する人材を育成するため、シニア層に限定することなく、幅広い世代を対象とした「すいた環境サポーター養成講座」を開催した。27名が講座を受講し、11名が修了した。	それぞれの家庭や地域において、環境活動を実践する人材を育成するため、シニア層に限定することなく、幅広い世代を対象とした「すいた環境サポーター養成講座」を開催した。28名が講座を受講し、15名が修了した。	△	平成27年度から、対象をシニア層に限定することなく幅広い世代を対象とした結果、受講者の平均年齢は減少傾向に(平成26年度:67歳、平成27年度:56歳、平成28年度:43歳、平成29年度:46歳、平成30年度:56歳)、受講者数は増加傾向にある(平成26年度:17名、平成27年度:28名、平成28年度:29名、平成29年度:27名、平成30年度:28名)。	環境政策室	環境政策室 市民自治推進室 地域経済振興室 指導室 まなびの支援課
	⑤ 学習プログラムや教材の研究・開発	学生の協力を得て、吹田市社会福祉協議会が地域で実施する子育てサロンにおいて、保護者に対する地球温暖化問題や省エネ・節エネについて啓発活動を実施した。(8月3日、9月14日、10月18日、11月1日、2月8日、3月8日)	アジェンダ21すいたにおいて、環境学習としての学校版CO2ダイエットに取り組む学校の発掘に取り組んだ。現状、取り組む学校は見当たらなかったが、引き続き、学校にアプローチし、発掘に取り組んでいく。	△	今後のアジェンダ21すいたの取組みにおいて、連携して学校に対するより効果的な啓発方法を研究していきたい。	環境政策室	